


再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道208号（有明海沿岸道路） <small>おおかわ さが</small> 大川佐賀道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局																				
起終点 自：福岡県大川市大野島 <small>おおかわ おおのしま</small> 至：佐賀県佐賀市嘉瀬町 <small>さが かせまち</small>		延長 約9.0 km																				
事業概要 大川佐賀道路は、有明海沿岸道路の一部として計画された路線であり、佐賀市～武雄・鹿島市等の集積圏相互の連携を強化するとともに、佐賀唐津道路と有機的に結節することで重要港湾三池港・唐津港や有明佐賀空港等の広域交流拠点と連結し、人・物の交流促進を支援する地域高規格道路である。																						
H 年度事業化 （H13年度着工準備）	H 年度都市計画決定 （H 年度変更）	H 年度用地着手																				
全体事業費 約709億円		事業進捗率 0.4%																				
計画交通量 37,300台/日		供用済延長 0.0 km																				
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">B/C</td> <td style="text-align: center;">(事業全体) 1.8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(残事業)</td> <td style="text-align: center;">1.9</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 1.8	(残事業)	1.9	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">460/463億円</td> <td style="text-align: center;">(事業費：433/436億円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(維持管理費：27/27億円)</td> <td></td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/ (事業全体)	460/463億円	(事業費：433/436億円)	(維持管理費：27/27億円)		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: center;">(残事業)/ (事業全体)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">855/855億円</td> <td style="text-align: center;">(走行時間短縮便益：706/706億円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(走行費用減少便益：89/89億円)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(交通事故減少便益：60/60億円)</td> <td></td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/ (事業全体)	855/855億円	(走行時間短縮便益：706/706億円)	(走行費用減少便益：89/89億円)		(交通事故減少便益：60/60億円)		基準年 平成17年
B/C	(事業全体) 1.8																					
(残事業)	1.9																					
総費用	(残事業)/ (事業全体)																					
460/463億円	(事業費：433/436億円)																					
(維持管理費：27/27億円)																						
総便益	(残事業)/ (事業全体)																					
855/855億円	(走行時間短縮便益：706/706億円)																					
(走行費用減少便益：89/89億円)																						
(交通事故減少便益：60/60億円)																						
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（一般国道208号の渋滞損失時間の削減、有明佐賀空港へのアクセス性向上） ・物流効率化の支援（重要港湾である三池港や唐津港へのアクセス性向上） ・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） <p style="text-align: right;">他11項目に該当</p>																						
関係する地方公共団体等の意見 大川佐賀道路、沿線地域間の連携・交流や交通混雑緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、佐賀市をはじめとする沿線の首長等で構成される有明海沿岸道路建設促進期成会より早期整備の要望（佐賀県期成会-H14.7.14）を受けている。																						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 並行する国道208号の交通量は年々増加しており、需要が高まっている。 有明佐賀空港の夜間貨物便の就航。																						
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率は事業費ベースで0.4%であり、用地買収については未着手である。																						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 現在は、準備書作成に向け現地調査を実施しており、今後も、都市計画決定に必要な環境影響評価及び都市計画決定に向けて手続きを行うなど、事業を引き続き推進する。																						
施設の構造や工法の変更等 事業実施に当たって新技術・新工法の積極的活用・建設副産物対策による着実なコスト削減を図る予定である。特に、軟弱地盤対策については既に施工を行っている福岡県側の事例を参考に、コスト削減の方策について更に検討を進める。																						
対応方針 事業継続																						
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																						
事業概要図 <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">凡</th> <th style="text-align: center;">例</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">■■■■■■</td> <td style="text-align: center;">供用中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">■ ■ ■ ■ ■</td> <td style="text-align: center;">事業中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▨ ▨ ▨ ▨ ▨</td> <td style="text-align: center;">再評価箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○ ○ ○ ○</td> <td style="text-align: center;">調査中</td> </tr> </table> </div> </div>			凡	例	■■■■■■	供用中	■ ■ ■ ■ ■	事業中	▨ ▨ ▨ ▨ ▨	再評価箇所	○ ○ ○ ○	調査中										
凡	例																					
■■■■■■	供用中																					
■ ■ ■ ■ ■	事業中																					
▨ ▨ ▨ ▨ ▨	再評価箇所																					
○ ○ ○ ○	調査中																					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。